

- 問1 大日本帝国憲法において規定された、国の主権や天皇の権限に関する説明として正しいものはどれですか。 (2024年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 天皇が国の主権者であり、統治権をすべてあわせ持つものとされた。 | 2. 国民の権利は、いかなる理由があっても制限できない永久の権利とされた。 | 3. 主権は国民にあり、天皇は政治的な権限を持たない象徴とされた。 | 4. 内閣総理大臣は、国会議員の中から国会の指名によって選ばれるとされた。 |
|------------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|
- 問2 明治時代における立憲体制の確立と、その後の近代化の過程について説明した次の記述のうち、出来事の順序として正しいものはどれか。なお、記述は「民撰議院設立建白書の提出」「第1回帝国議会の開会」「日清戦争の勃発」「治安維持法の制定」の4点について述べています。 (2020年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 日清戦争が勃発した後に第1回帝国議会の開かれ、民撰議院設立建白書の提出、治安維持法の制定と続いた。 | 2. 民撰議院設立建白書の提出、日清戦争の勃発、第1回帝国議会の開会、治安維持法の制定の順で進んだ。 | 3. 民撰議院設立建白書が提出された後、第1回帝国議会の開かれ、その後に日清戦争が始まり、さらに後の時代に治安維持法が制定された。 | 4. 第1回帝国議会の開かれた後に民撰議院設立建白書が提出され、日清戦争を経て、治安維持法が制定された。 |
|--|--|---|--|
- 問3 明治政府が北海道の開拓を進めるために設置した開拓使のもとで、1870年代から本格化した「屯田兵」制度の目的として最も適切な説明はどれですか。 (2019年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------|
| 1. アイヌの人々の伝統的な狩猟生活を保護し、文化を継承するため | 2. ロシアに対する北方の警備と、未開地の開拓を同時に進めるため | 3. 石炭などの地下資源を採掘し、重工業化のための官営工場を建設するため | 4. 欧米諸国の農業技術を学ぶために、留学生を外国へ派遣するため |
|----------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------|
- 問4 伊藤博文が大日本帝国憲法を起草する際、イギリスやフランスの憲法ではなく、主にドイツ（プロイセン）の憲法を参考にした背景として、最も適切な理由はどれですか。 (2019年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 国民の基本的人権を最大限に尊重し、議会が政府を厳しく監視する仕組みを導入したかったため | 2. 君主権が強く、政府の権限が議会に制約されにくい仕組みが日本の国情に適していると考えたため | 3. 地方自治の権限を強め、民権派が主張する自由民権運動の要求をすべて受け入れるため | 4. フランスのような共和制を導入することで、天皇を中心とした国家体制を根本から改革しようとしたため |
|--|---|--|--|
- 問5 明治時代、自由民権運動が活発になり国会の開設を求める演説会が各地で開かれました。これに対し政府は、集会の内容が事前に届け出たものと異なったり、社会の秩序を妨げたりすると警察が判断した場合に、その場で解散を命じることができる権限を定めました。このように、民間の政治活動を抑え込むために制定された法令を何といいますか。 (2020年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|---------|---------|
| 1. 治安維持法 | 2. 保安条例 | 3. 軍人勅諭 | 4. 集会条例 |
|----------|---------|---------|---------|
- 問6 1895年に下関条約が結ばれた背景やその後の影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|--|--|---|
| 1. 条約によって韓国を併合することが認められ、朝鮮総督府が設置された。 | 2. この戦争は、ロシアの南下政策を阻止することを主目的として開始されたものである。 | 3. 条約締結の直後に、日本とイギリスの間で日英同盟が結ばれることとなった。 | 4. 戦争の勝利後、ロシア・ドイツ・フランスから遼東半島の返還を求められる三国干渉が起こった。 |
|--------------------------------------|--|--|---|
- 問7 日露戦争の講和条約であるポーツマス条約の調印後、日本では日比谷焼打事件をはじめとする激しい暴動が発生しました。日清戦争と比較して、死者数が約1万3000人から約8万5000人へ、戦費が約2億円から約18.3兆円へと、国民の負担が劇的に増大していた統計資料を背景に考えたとき、国民が最も強く反発した条約の内容はどれですか。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|--------------------------|-------------------------------|-------------------------|
| 1. 樺太の全土を領有できず、北緯50度以南にとどまったこと | 2. ロシアからの賠償金は一切得られなかったこと | 3. 韓国（大韓帝国）に対する指導権が認められなかったこと | 4. 旅順や大連の租借権をロシアに返還したこと |
|--------------------------------|--------------------------|-------------------------------|-------------------------|
- 問8 明治政府が輸出産業の育成と産業の近代化を目指し、1872年に群馬県に設立した日本初の本格的な官営模範工場の名称として正しいものを選びなさい。 (2023年 福井県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|------------|----------|
| 1. 八幡製鉄所 | 2. 足尾銅山 | 3. 三菱長崎造船所 | 4. 富岡製糸場 |
|----------|---------|------------|----------|
- 問9 1886年、和歌山県沖でイギリスの貨物船が沈没し、日本人乗客全員が水死したにもかかわらず、救命ボートで脱出したイギリス人船長らに対して、領事による裁判で非常に軽い刑罰しか科されなかった「ノルマントン号事件」が起きました。このように、外国人が日本国内で罪を犯した際、その国の領事が自国の法律に基づいて裁判を行う権利を何といいますか。 (2024年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|----------------|-------------|----------|
| 1. 片務的最恵国待遇 | 2. 領事裁判権（治外法権） | 3. 内政不干渉の原則 | 4. 関税自主権 |
|-------------|----------------|-------------|----------|
- 問10 自由民権運動の指導者である板垣退助に関連して、この運動が全国的に広まる中で、当時の人々が政府に対して求めたものの組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2023年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------|---------------------|----------------|--------------------|
| 1. 鎖国の継続・キリスト教の禁止 | 2. 内閣総理大臣の公選・貴族院の廃止 | 3. 国会の開設・憲法の制定 | 4. 治安維持法の制定・徴兵制の廃止 |
|-------------------|---------------------|----------------|--------------------|
- 問11 明治時代後半の文化に関する記述として、日露戦争の講和条約であるポーツマス条約が締結された千九百五年に、小説『吾輩は猫である』を発表し、日本の近代文学を確立させた人物として正しいものはどれですか。 (2020年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|----------|---------|---------|
| 1. 森鴎外 | 2. 芥川龍之介 | 3. 夏目漱石 | 4. 樋口一葉 |
|--------|----------|---------|---------|
- 問12 1871年に欧米へと派遣された岩倉使節団には、日本で初めての女子留学生たちが同行していました。その一人であり、アメリカでの長期にわたる留学生生活を終えて帰国した後、女子の自立と地位向上を目指して現在の津田塾大学の前身である「女子英学塾」を創設した人物を次の中から選びなさい。 (2018年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|-----------|
| 1. 津田梅子 | 2. 市川房枝 | 3. 樋口一葉 | 4. 平塚らいてう |
|---------|---------|---------|-----------|
- 問13 明治時代、フランスで洋画を学び、帰国後に「湖畔」などの作品を発表した画家は誰ですか。印象派の影響を受けた明るい光の表現を日本に紹介し、東京美術学校（現在の東京藝術大学）の西洋画科で指導にあたるなど、近代洋画の発展に尽力しました。 (2020年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 横山大観 | 2. 狩野芳崖 | 3. 尾形光琳 | 4. 黒田清輝 |
|---------|---------|---------|---------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 天皇が国の主権者であり、統治権をすべてあ わせ持つものとされた。	大日本帝国憲法では、天皇が統治権のすべてをあわせ持つ「統治権の総攬（そうらん）」が明記されました。国民は「臣民（しんみん）」と呼ばれ、その権利は「法律の範囲内」でのみ認められるという制限がありました。象徴天皇制や国民主権を基本原則とする現在の日本国憲法とは、主権の所在において大きな違いがあります。
問2	答え 3 民撰議院設立建白書が提出された後、第1回 帝国議会が開かれ、その後に日清戦争が始ま り、さらに後の時代に治安維持法が制定され た。	自由民権運動の始まりである民撰議院設立建白書の提出（1874年）から、大日本帝国憲法発布を経て第1回帝国議会が開会（1890年）されるまでが立憲体制の確立期です。その後、1894年に日清戦争が起こり、大正時代末期の1925年に社会主義運動などを取り締まる治安維持法が制定されました。
問3	答え 2 ロシアに対する北方の警備と、未開地の開拓 を同時に進めるため	明治政府はロシアの南下政策を警戒し、北方の守りを固める必要がありました。同時に、広大な土地の農業開発を推進するため、土族を中心とした移住者に土地を与え、平時は農業に従事させ、有事には兵士として活動させる屯田兵の制度を設けました。この過程でアイヌの人々は土地を奪われ、伝統的な生活を制限されることとなりました。
問4	答え 2 君主権が強く、政府の権限が議会に制約され にくい仕組みが日本の国情に適していると考え たため	伊藤博文は渡欧して憲法を調査した際、君主（皇帝）の権限が強いプロイセン憲法を高く評価しました。これは、当時の日本が求めていた「天皇を中心とした強力な中央集権国家」を構築しつつ、近代的な立憲主義の体裁を整えるという目的に合致していたためです。この考えに基づき、大日本帝国憲法では天皇に統帥権などの強い権限が与えられることとなりました。
問5	答え 4 集会条例	板垣退助らによる民撰議院設立建白書の提出をきっかけに、国民の間で国会開設や言論の自由を求める自由民権運動が高まりました。政府はこれに対し、1880年にこの法令を制定し、警察が集会や演説を厳しく監視・制限できるようにすることで、運動の広がりを阻止しようとした。大正時代以降の社会主義などを取り締まった治安維持法と混同しないよう注意が必要です。
問6	答え 4 戦争の勝利後、ロシア・ドイツ・フランスか ら遼東半島の返還を求められる三国干渉が起 こった。	下関条約によって日本は遼東半島を獲得しましたが、東アジアへの進出を狙っていたロシアがドイツ・フランスとともに日本に圧力をかけ、半島を清に返還させました。これを「三国干渉」と呼び、日本ではロシアに対する「臥薪嘗胆」のスローガンが広まり、のちの日露戦争への伏線となりました。
問7	答え 2 ロシアからの賠償金が一切得られなかったこ と	日露戦争は日清戦争を遥かに上回る死者と戦費を投じた戦争であり、国民は多額の増税に耐えながら戦争を支えていました。日清戦争では多額の賠償金を得られた経験から、国民は今回も賠償金によって生活が潤うことを期待していましたが、ポーツマス条約ではロシアから金銭的な補償を一切得られませんでした。この期待と現実のギャップが、講和条約に反対する激しい国民運動へとつながりました。
問8	答え 4 富岡製糸場	明治政府は「殖産興業」の政策を掲げ、欧米の進んだ技術を導入するために官営模範工場を建設しました。群馬県に建てられた富岡製糸場はその代表例であり、フランスから技術者を招いて機械による生糸の生産技術を全国に広める役割を果たしました。
問9	答え 2 領事裁判権（治外法権）	江戸幕府がアメリカやイギリスなどと結んだ不平等条約には、日本に滞在する外国人が犯罪を犯しても日本の法律で裁くことができないという取り決めが含まれていました。ノルマントン号事件の結果、この権利が日本にとって極めて不当であることが国民に広く認識され、条約改正を求める運動が激化する要因となりました。
問10	答え 3 国会の開設・憲法の制定	自由民権運動は、国民の自由と権利を確立するために「立憲政治」の実現を目指したものです。そのため、その具体的な手段として、国民の代表が集まる「国会」の開設と、政治のルールを定める「憲法」の制定が最大の目標となりました。大正時代の「護憲運動」や、さらに後の普通選挙運動などと混同しないよう注意が必要です。
問11	答え 3 夏目漱石	千九百四年に始まった日露戦争がポーツマス条約によって終結した千九百五年に、夏目漱石は『吾輩は猫である』を執筆しました。この時期は日本の国際的地位が向上するとともに、国民の自己意識が高まり、個性豊かな近代文学が発展した時期にあたります。彼はイギリス留学の経験を活かしつつ、日本の近代社会を批判的に描くなど、明治から大正にかけて大きな足跡を残しました。
問12	答え 1 津田梅子	岩倉使節団にわずか6歳で同行した津田梅子は、約11年間のアメリカ留学を経て帰国しました。当時の日本では女性が専門的な知識を学ぶ場が限られていたため、英語教育を通じて女性の個性を尊重し、自立した女性を育成することを目指して1900年に女子英学塾を設立しました。他の選択肢のうち、樋口一葉は明治時代の小説家、平塚らいてうは『青鞥』を創刊した女性解放運動家、市川房枝は大正から昭和にかけて女性参政権運動を指導した人物です。
問13	答え 4 黒田清輝	黒田清輝はフランスへ留学してラファエル・コランに師事し、当時ヨーロッパで主流だった印象派に近い、明るい光の描写を取り入れた画風を日本に持ち帰りました。彼の画風はそれまでの暗い色調の洋画とは一線を画すものであり、日本の近代洋画の基礎を築きました。一方、選択肢にある横山大観や狩野芳崖は明治時代に活躍しましたが、日本画の改革に努めた人物です。